

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和2年3月

事業所名:障害者通所支援事業所ちゅらハウス1号館

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3		学習部屋や活動のスペースを分けて使っている	建物全体を有効活用。個別指導できる部屋がもう少しはある
	2	職員の配置数は適切である	6	1	1	新年度より職員の人を確保する	スタッフの増員。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	4	必要な部分などを設置している	階段や段差が多い
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	5		会議などを行な全スタッフに行く届くようにする	目標を共通理解し、うまくいかないとき話し合いを設ける
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	4		アンケートの意見など職員間で話し改善を含めたミーティングをスタッフ同士する	保護者の声をミーティングで話し合いたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			ホームページで開示	事業所の活動などホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5		スタッフ間で共有する	第三者までには至る事例がない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		8		施設内研修では外部研修等後スタッフ間で報告会を行う	施設内研修を年数回行っている。また、外部研修など充実している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		面談後共通理解のためミーティングを行う。	半年に1回の面談をし保護者ニーズに基づいた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		個々に合わせた個別学習設けている	個別学習やグループ学習など適宜個々に応じて取り入れる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		担当を中心にスタッフ間で共有する。	各プログラムの担当を決めてプログラムを進めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	1	担当スタッフが児童が楽しめるように工夫している	固定しないようにプログラム担当が工夫をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		個々に合わせた支援内容を設定し支援	週のプログラムを設定し休日などは個々のプログラムに合う設定。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8			個々に合わせた計画後スタッフ間で話し合い共有している。	個々に合わせた個別学習や集団活動の支援の取り組みを計画作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			毎日、開始前にミーティングをし全スタッフ伝える	開始前にミーティングや日誌で共通理解を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		7	1	必要に応じ時間を設け全スタッフで話し合いを共有する	帰りの就業時間がバラバラなので翌日などミーティングで確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2		問題点がる場合支援開始前全スタッフで話し合う	日誌と個別記録とっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	6		必要性などを判断し相談事業所の計画をもとに計画を見直す	相談支援を通して計画を立てている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	2			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		担当者会議で話し合った情報を全スタッフと共有する	サビ管などが支援会議等に参加
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	3		連絡調整を出来るように日々学校との連携をする	学校側と日々連絡を取り合える体制をしている

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケア児が現在いない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	引継ぎ後、全スタッフにミーティングで情報を共有する。	各館で情報共有あり。各館の引継ぎの際情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	外部研修後にスタッフで報告会を設けている。	外部研修を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8		学童クラブ主催などのイベントに参加	当事業所は学童児童も同時に見守っている。児童館との交流
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	協議会で話し合った内容を全スタッフと共有する	放課後等連絡協議会などにサビ管などが参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		連絡帳や電話やLINEにて保護者に伝える	連絡帳など伝えたりLINEなどで伝える。また、お迎え時にも伝える。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている		1	次年度は、取り組めるようになる。	実施していない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	新規や新年度で保護者に説明をする。	面談の際に保護者に説明を行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	相談内容を全スタッフで話し合う保護者との面談し内容を全スタッフで共有する	保護者からの悩みなどの相談がある時にはその都度話し合いの場を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	保護者会や含め保護者参加イベントを開催する	年1回の保護者総会や行事などで保護者同士の関わりがある。回数を増やして行うようにする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	苦情があればその都度対応しスタッフで問題点を話し合う	管理者や施設長が対応しスタッフ間で話し合い迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月の便りの配布に踏まえ電話やLINEにて対応	月一のお便りの発行やLINEなどで保護者にれんらくする。
	35	個人情報に十分注意している	7	1	施設内の情報は外部に漏れないように徹底	個人情報が漏れないように職員で徹底する個人情報の同意書ももらっている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	3	電話やお迎え時などわかりやすく伝えるように対応する。	お迎え時やLINEや手紙、電話などで情報を発信している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	より多く地域へ参加・招くなどの計画を立ていく	訪問などではしているが招いたりができない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2	しおりや保護者総会などで再度説明を行う	年度初めにオリエテーション・保護者会にて周知や職員間でも共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		災害の伝え方を実践など含め用い伝えていく	月1回災害について時間を設けている。年2回火災訓練を実施している。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		より専門性を高めるため勉強会をする	施設内研修や島外研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7	保護者に説明後スタッフ間で共通理解のため話し合いをする。	保護者に説明し計画書に記載工夫
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		面談にてアレルギーがあるかを確認し対応	学校と共に医師の診断書の提出
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		スタッフ間で共有し問題点を話し合いする	マニュアルを作成し職員間で共有している。